

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

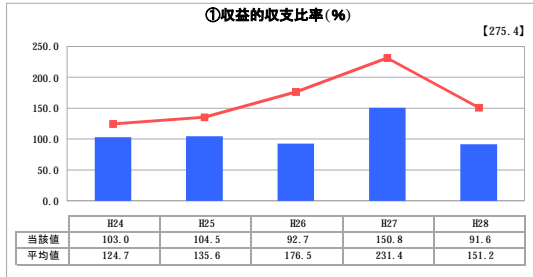
大阪府箕面市 箕面駅前第一駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	その他
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	1	

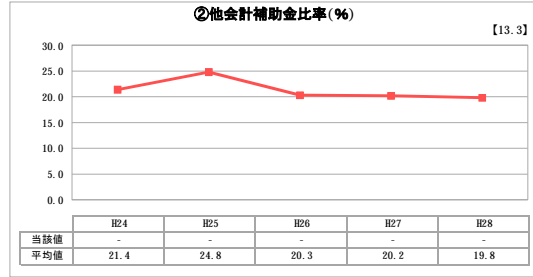
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	11,148
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
285	200	利用料金制

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
[ ]	平成28年度全国平均

## 1. 収益等の状況

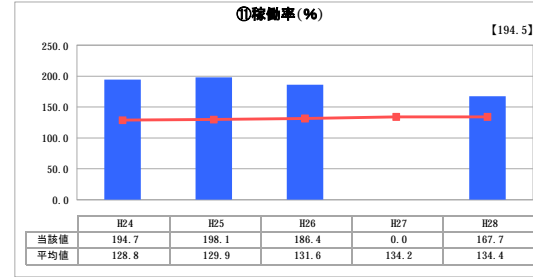


「経常損益」

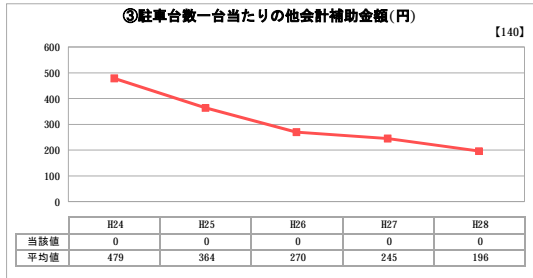


「他会計補助金割合」

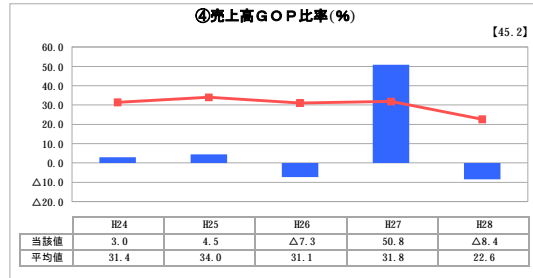
## 3. 利用の状況



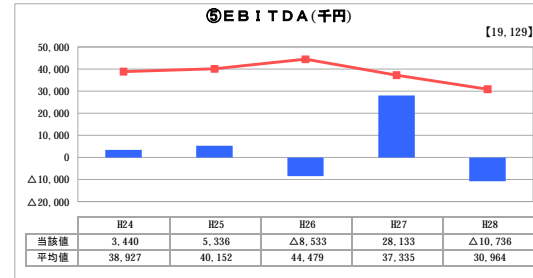
「施設の効率性」



「他会計補助金額」



「売上高に対する営業総利益」



「減価償却前営業利益」

## 2. 資産等の状況

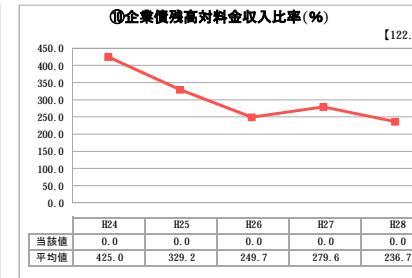


「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)	637,011
⑧設備投資見込額(千円)	0



「累積欠損」



「債務残高」

## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 収益的収支比率において、平成24年度から平成28年度にかけて、緩やかに下降傾向にある。しかし、平成27年度の数値のみ大きく上昇しており、単年度収支が黒字となっている。原因としては、平成27年度の1年間をかけて実施した箕面駅前第一駐車場の建替工事により、箕面駅前第一駐車場に係る運営コストがかからなかったことに加え、箕面駅前第二駐車場に利用者が集中したことが考えられる。また、平成24年度から緩やかに下降している原因としては、近隣における駐車場の増加や料金設定等により、利用者が分散してしまっていることが考えられる。(※箕面駅前第一駐車場及び第二駐車場を同一の指定管理者が管理しており、2施設併せた収支報告となっているため、状況分析に関しても、2施設併せたものとする。)

2. 資産等の状況について  
 箕面駅前第一駐車場は、平成28年4月1日にリニューアルオープンの新築の施設であるため、現時点での投資見込額は0となっている。

3. 利用の状況について  
 稼働率が減少傾向にあるが、原因としては、近隣における駐車場の増加や料金設定等により、利用者が分散してしまっていることが考えられる。  
 なお、平成27年度に稼働率が0となっているのは、「1.収益等の状況」に記載のとおり、1年間かけて建替工事を実施したことによるものである。

全体総括  
 箕面駅前第一駐車場及び第二駐車場あわせてPFI事業により実施しているが、稼働率が減少傾向にあり、利用促進策の検討が必要である。(※箕面駅前第一駐車場及び第二駐車場を同一の指定管理者が管理しており、2施設併せた収支報告となっているため、状況分析に関しても、2施設併せたものとする。)  
 なお、経営戦略の策定については検討中である。

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

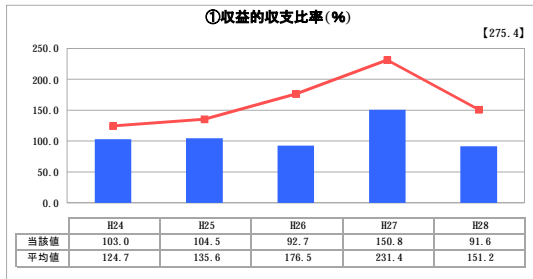
大阪府箕面市 箕面駅前第二駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	その他
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	28	

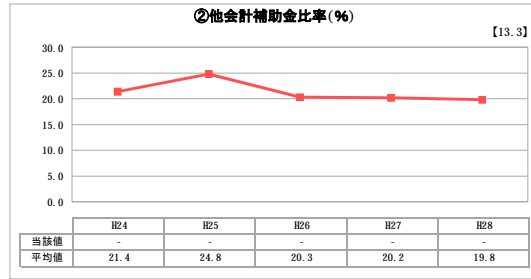
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	6,849
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
281	200	利用料金制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

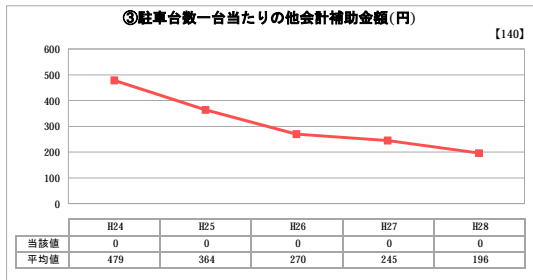
## 1. 収益等の状況



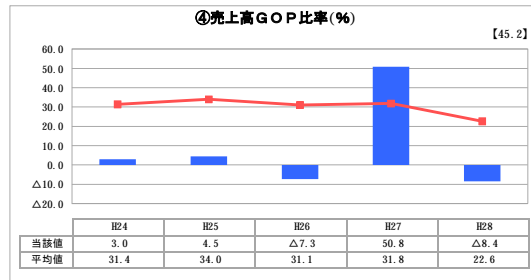
「経常損益」



「他会計補助金割合」

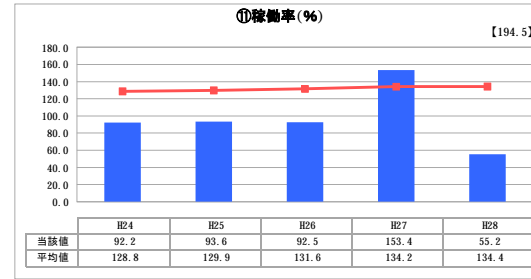


「他会計補助金額」

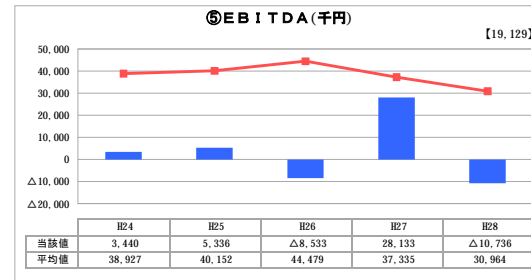


「売上高に対する営業総利益」

## 3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

## 2. 資産等の状況

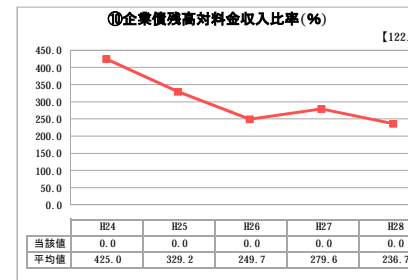


「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)	547,056
⑧設備投資見込額(千円)	3,066



「累積欠損」



「債務残高」

## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 収益的収支比率において、平成24年度から平成28年度にかけて、緩やかに下降傾向にある。しかし、平成27年度の数値のみ大きく上昇しており、単年度収支が黒字となっている。原因としては、平成27年度の1年間をかけて実施した箕面駅前第一駐車場の建替工事により、箕面駅前第一駐車場に係る運営コストがかからなかったことに加え、箕面駅前第二駐車場に利用者が集中したことが考えられる。また、平成24年度から緩やかに下降している原因としては、近隣における駐車場の増加や料金設定等により、利用者が分散してしまっていることが考えられる。(※箕面駅前第一駐車場及び第二駐車場を同一の指定管理者が管理しており、2施設併せた収支報告となっているため、状況分析に関しても、2施設併せたものとする。)

2. 資産等の状況について  
 箕面駅前第二駐車場は、平成28年4月～6月に大規模修繕を実施しており、当該大規模修繕を終えて、今後修繕をしていく予定額が3,066千円となっている。

3. 利用の状況について  
 稼働率が減少傾向にあるが、原因としては、近隣における駐車場の増加や料金設定等により、利用者が分散してしまっていることが考えられる。なお、平成27年度に稼働率が急増しているのは、駅前第一駐車場が1年間かけて建替工事を実施し、第二駐車場に利用者が集中したことによるものであり、平成28年度の稼働率が急減しているのは、大規模修繕を実施したことによるものである。

全体総括  
 箕面駅前第一駐車場及び第二駐車場あわせてPFI事業により実施しているが、稼働率が減少傾向にあり、利用促進策の検討が必要である。(※箕面駅前第一駐車場及び第二駐車場を同一の指定管理者が管理しており、2施設併せた収支報告となっているため、状況分析に関しても、2施設併せたものとする。)  
 なお、経営戦略の策定については検討中である。